

令和7年度 努力点推進の基本方針

1 研究主題

自律して学び続ける子どもの育成

～自分に合った方法や進度で課題を解決しよう（2年目）～

2 研究のねらい

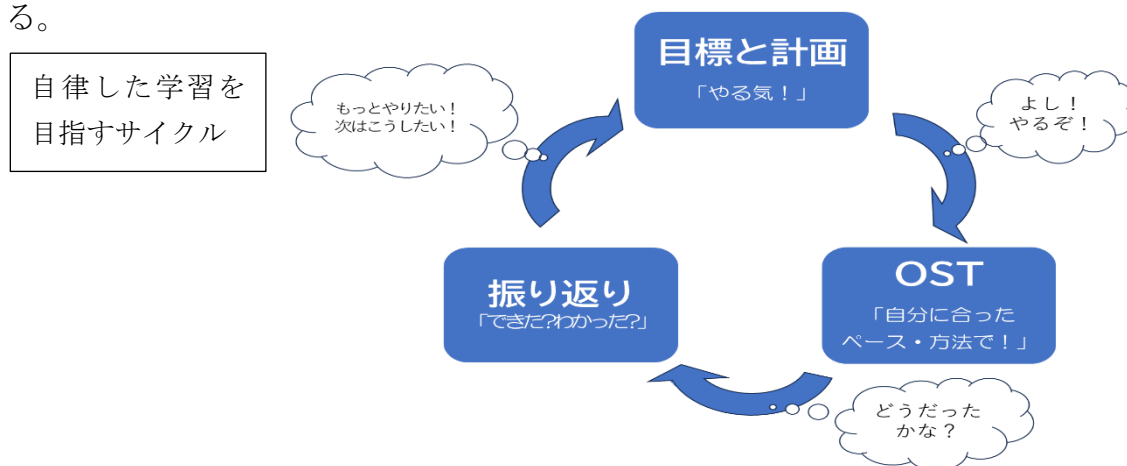
本校では、昨年度から、「ナゴヤ学びのコンパス」を基に、自律して学び続ける子どもの育成を目指して研究を進めている。昨年度は、学ぶペース、方法、内容などを子どもが自己選択、自己決定することができる力を身に付けさせるべく、「大清水セレクトタイム（OST）」と「振り返りタイム」を設定して研究を進めた。例えば、生活科のおもちゃづくりや理科の実験で、自分の試してみたい条件を選択して実験に取り組ませる実践や、算数科の問題解決の場面で、誰と学習を進めるか選択して学習に取り組ませる実践が行われた。OSTで学ぶペース、方法、内容を自己選択・自己決定することで、多くの子どもが意欲的に学習に取り組むことができ、学びを深める姿が見られた。しかし、OSTの中で学ぶペース、方法、内容を、適切に自己選択・自己決定できていない子どもも見られた。これは、振り返りの方法や内容が不十分で、子どもが学習状況を把握できなかったり、子どもが自らの学習を振り返られるように、「計画を立てて見通す」「実行する」「振り返る」という流れを意識させることが不十分であったりしたことが原因だと考える。

昨年度の課題を踏まえ、今年度は、改めて「ナゴヤ学びのコンパス」に照らし合わせて、「自律して学び続ける子どもの育成」をするために、一人一人が学ぶペース・方法・内容を適切に自己選択・自己決定することができる力を身に付けさせたい。そのために、昨年度の「大清水セレクトタイム（OST）」を継続しながら、「振り返りタイム」に重点を置いて研究を進めることとする。「振り返りタイム」では、どのような方法や内容、頻度、場面で振り返ると、自分の学びの成果や課題を把握でき、自己選択・自己決定のある学びが更に充実したものになるのか検討を行っていきたい。そこで、今年度も「自分に合った方法や進度で課題を解決しよう」を副題とし、実践を行う。

3. 研究の内容

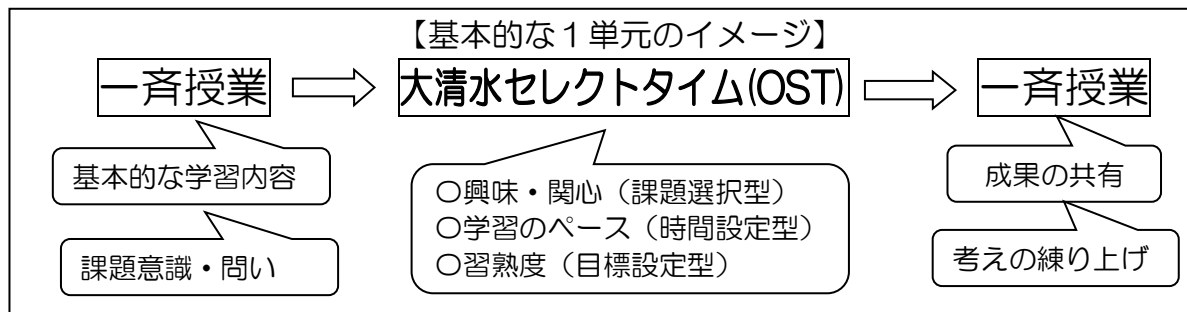
(1) 研究の具体化

今年度も「自分に合った方法や進度で課題を解決しよう」をテーマと設定し、1時間または単元の一部で「自分の学習状況や興味・関心に合わせて計画を立て、個別に学習を進める場面」「大清水セレクトタイム（OST）」と「振り返りタイム」を設定する。



① 「大清水セレクトタイム（OST）」について

子どもたちの興味・関心や、学習のペース、習熟度等に応じて、子どもたちが自分に必要な課題や学習活動を選択して取り組むことができる「大清水セレクトタイム（以下、OST）」を設定する。OSTでは子ども一人一人が学習計画を立て、それに沿って、個別に、時には協働しながら学習を進めていく。



OSTに入る前の斉授業では、基本的な学習内容をつかませたり、課題意識や問いをもたせたり、進め方や留意点を確認するガイダンスを行ったりすることが考えられる。また、OST後の斉授業では、調べたり、製作したりした成果を共有し、練り上げる等の活動が考えられる。

② 「振り返りタイム」について（今年度の重点）

子どもが自分の学びを振り返り、次につなげるために、学習の状況や取り組み方などを自己評価や相互評価で確認する。

さらに今年度は、どのような方法や内容、頻度、場面で振り返ると、自分の学びの成果や課題を把握でき、OSTでの学びが更に充実したものになるのか検討を行っていきたい。具体的には、学んだことの振り返りだけでなく学ぶ姿勢の振り返りを行うことや、図やICTを活用した振り返りなどが考えられる。

【自由進度タイムを設けた1時間の授業のイメージ】	
めあて（活動計画）	本時のめあてや、取り組む活動の計画を立てる。
大清水セレクトタイム（OST）	各自の立てた計画に従って学習を進める。必要に応じて、仲間と教え合ったり、教師と一緒に考えたりする。
振り返りタイム	学習の状況や取り組みを自己評価や相互評価で確認し、次時の活動への見通しをもつ。 どのような方法や内容で振り返ると、自分の学びの成果や課題を把握でき、OSTでの学びが更に充実したものになるのか検討を行う。